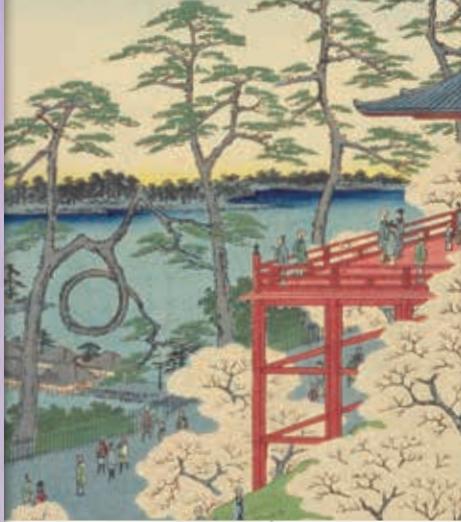
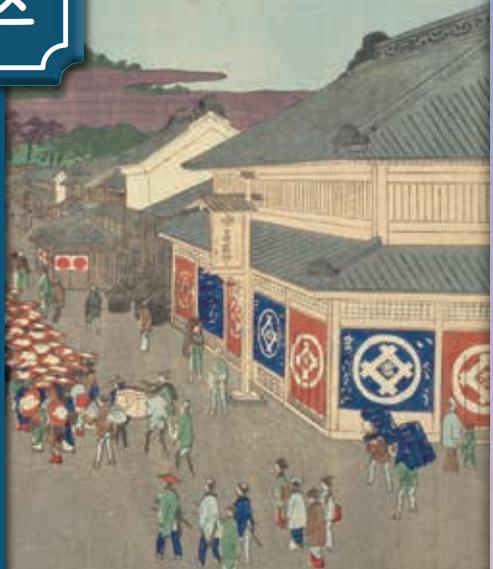




上野地区

まちづくりビジョン



令和2年3月
台東区

上野を特徴づける「^{もり}杜」と「^{もり}まち」

世界文化遺産を含む多様かつ高度な文化・芸術関連施設が集積する「^{もり}杜」

世界の ^{すい} 粹

「世界の粹（すい）」

^{もり}杜が誇る多様かつ高度な文化・芸術に関連する施設・人・ものすべて



東京国立博物館



国立科学博物館



© 国立西洋美術館



旧東京音楽学校演奏堂

多様で特色のある文化・歴史資源が集積する「^{いき}まち」



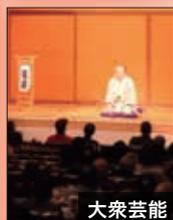
幕末の上野



アメ横



ジュエリータウン



大衆芸能



下町風俗資料館

東京の ^{いき} 粹

「東京の粹（いき）」

まちが包摂している長い歴史に培われてきた多様で特色ある営みや生活・文化

目次

1. 上野地区まちづくりビジョンとは …… 3
2. 上野の歴史と現状 …………… 4
3. 上野の将来像 …………… 9
4. 取組みの方向性 …………… 13
5. 将来像の実現に向けて …………… 23

巻末資料



「世界に輝く ひと まち たいとう」 の実現を目指して



— 上野地区まちづくりビジョンの策定について —

台東区は、江戸と今をつなぐ長い歴史の中で育まれた、世界に誇る文化・芸術や産業、観光をはじめとする多くの資源があり、個性豊かで魅力のあるまちです。

なかでも上野地区は、寛永寺の開基に始まる歴史の積み重なるの結果、世界文化遺産・国立西洋美術館をはじめとする日本屈指の文化・芸術施設や、日本で最初の都市公園のひとつで古くから桜や蓮の名所として賑わう上野恩賜公園、世界や東日本の玄関口として長い歴史を刻んできた上野駅、さらにアメ横やジュエリータウンをはじめとした個性豊かで活気ある商業エリアなど、多様で特色ある資源が集積する世界でも稀有な特徴を備えたまちです。

一方、産業構造、国際化などにみられるさまざまな社会状況の変化や、価値観の多様化など、人々の暮らしや都市活動が大きく変化するなかで、当地区を取り巻く状況も刻々と変わり続けています。

平成30年度に策定した台東区基本構想では、概ね20年後の将来像として「世界に輝く ひと まち たいとう」を掲げ、さらに台東区都市計画マスタープランにおいては、当地区をまちづくり推進重点地区として、より集中的にまちづくり施策を実施する地区に位置づけました。

そこで、上野地区が日本の文化芸術立国を牽引し、国際競争力を強化する文化・芸術の創造発信拠点としてさらなる発展を遂げていくために、当地区の将来のまちづくりの大きな方向性を示し、これからのまちづくりの指針となる「上野地区まちづくりビジョン」を策定しました。

本ビジョンでは、概ね20年後の上野地区のまちづくりの将来像として「杜の文化とまちの賑わいが共演する舞台“上野”～世界の^{すい}粋・東京の^{いま}粋～」を掲げました。杜が世界に誇る文化・芸術資源（世界の^{すい}粋）を極め、まちが多様で特色ある文化・歴史資源（東京の^{いま}粋）を包摂し、さらに杜とまちとそのつながりが、世界中の人々を惹きつけ、そこでの体験・感動・^{すい}営みが新たな^{すい}粋を生み、文化・芸術が無限に成長するさまは、まさに当地区のまちづくりに相応しい将来像であると確信しています。

これからのまちづくりは、行政だけではなく、地域の皆様をはじめとした、まちづくりの多様な主体となる皆様との協働のもと、進めていくことが重要です。

策定にあたっては、学識経験者、地域団体の代表、また鉄道事業者等の皆様で構成する「上野地区まちづくりビジョン策定委員会」を設置し、さらに「基盤整備部会」、「まちづくり部会」の両専門部会などにおいて、長期間にわたり、真摯かつ熱心な検討を重ねていただきました。その他、上野に関係する方々へのヒアリングや、パブリックコメントなどにより、多くの皆様から頂戴した貴重なご意見も反映しており、ご協力いただいた全ての方々に対し改めて深謝申し上げます。

今後とも、本ビジョンに基づき、多様な地域資源を活かした個性豊かなまちづくりを実現するため、着実かつ計画的に取り組んでまいります。区民の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

令和2年3月

台東区長

服部 征夫

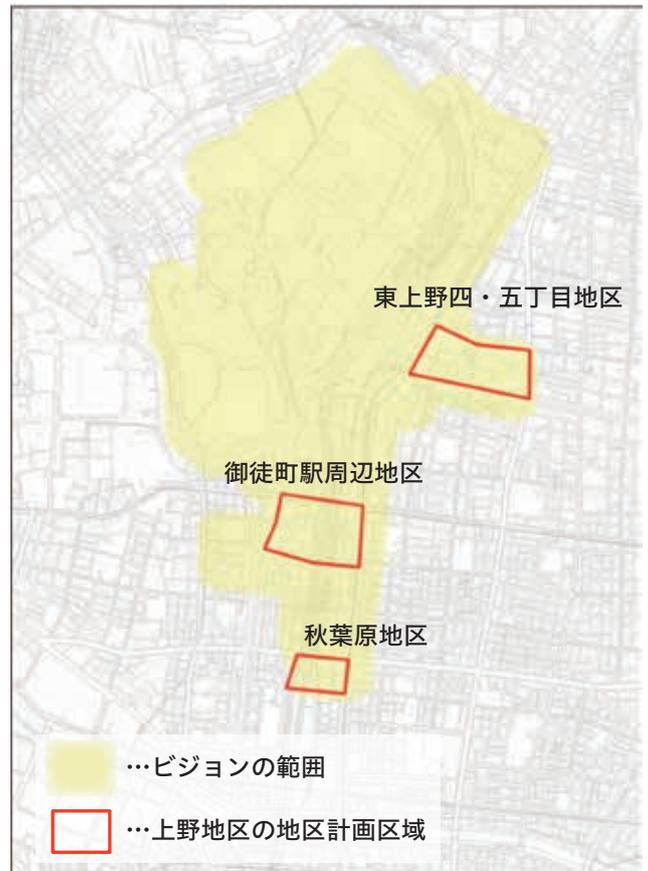
(1) ビジョンの目標

当ビジョンでは、概ね 20 年後の状況を想定し、杜とまちを重ね・つなげ、杜とまちの相乗効果を発揮するために、関係者が共有できる 2040 年代頃の上野の将来像と取組みの方向性を示す

ビジョン策定後も、社会経済状況等の変化に対応するため、必要に応じてビジョンの検証・更新を行う

(2) ビジョンの対象範囲

当ビジョンの対象範囲は、上野 1～7 丁目、上野恩賜公園、東上野 1～5 丁目の一部などを含む、上野駅及び御徒町駅周辺から秋葉原方面にかけて、地域間連携を視野に入れた広域な範囲とする



※この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。(承認番号) 31 都市基交著第 167 号

(3) ビジョンの位置づけ

国の関連計画

明日の日本を支える観光ビジョン (2016年)

政府目標	2020年	2030年
訪日外国人旅行者数	4千万人	6千万人
訪日外国人旅行消費	8兆円	15兆円

文化芸術立国中期プラン (2014年)

「上野の杜」への来訪者数 目標 3千万人

文化芸術推進基本計画 (2018年)

文化芸術立国の実現に向けて、文化芸術により生み出される多様な価値を、文化芸術の更なる継承・発展・創造に活用・好循環させる

上野「文化の杜」新構想 (2015年)

年間 3 千万人を集客する世界最高水準の文化芸術都市・国際遊学都市の形成を目指す

東京都の関連計画

都市づくりの
グランドデザイン

都市計画区域
マスタープラン

都市再開発方針等

台東区の計画

台東区基本構想

台東区長期総合計画

台東区都市計画マスタープラン (2019年)

上野地域の将来像 「杜とまちが一体となり日本と世界をつなぐ文化・芸術のまち」
上野・御徒町広域総合拠点 「国際競争力を有する文化・芸術を創造発信する拠点」
上野恩賜公園周辺みどりの拠点、上野・御徒町地区まちづくり推進重点地区 など

上野地区まちづくりビジョン

(1) 上野の歴史

● 寛永寺の門前町として発展

武家文化と町人文化の接合点、多様な人々が自由に行き交う場所



上野仁王門絵図 (歌川豊春)
(出典：国立国会図書館)



明治の庶民の花見
(出典：上野観光連盟 HP)



上野広小路
(出典：上野観光連盟 HP)



上野松坂屋
(出典：上野観光連盟 HP)

- 寛永 2 (1625) 年に開基した寛永寺の門前町として発展してきた
- 下谷広小路 (現中央通り) は寛永寺の参道で、徳川家ゆかりの武家文化と、まちに育まれた町人文化の接合点であった
- 古くより桜の名所として親しまれた
- 寛政 10 (1798) 年に下谷神社にて最初の寄席興行が行われた
- 明治期には、上野の山一体が日本初の公園に指定され、上野恩賜公園が開園した
- 明治～昭和戦前期には、公園側では博物館、まち側では百貨店など多様な文化が育まれた

● 幕末から近代の激動の百年における歴史の舞台、歴史の積み重なり



震災時の現上野一丁目付近
(出典：上野観光連盟 HP)



昭和 39(1964)年の上野アメ横
(出典：台東区教育委員会所蔵 須賀-コレクション)

- 幕末維新时期には上野戦争の舞台となり、明治期には公園設置や、内国勧業博覧会等が開催された
- その後の関東大震災 (大正 12 (1923) 年) や戦後の復興など、幕末から近代の『激動の百年』において上野は日本の歴史の表舞台に立ち続けた

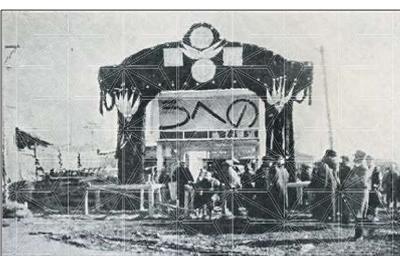
● 東京の玄関口



落成当時の二代目上野駅
(出典：上野駅史)



新幹線の建設
(出典：台東区立中央図書館所蔵 高相嘉男コレクション)



東洋初の地下鉄開通
(出典：上野観光連盟 HP)



開業当時の京成電鉄上野公園駅
(提供：京成電鉄株式会社)

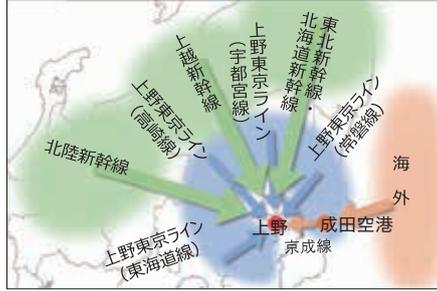
- 明治 16 (1883) 年
上野駅～熊谷駅間で鉄道路線開業
- 昭和 2 (1927) 年
上野駅～浅草駅間で東洋初の地下鉄開業
- 昭和 7 (1932) 年
二代目上野駅舎落成
- 昭和 8 (1933) 年
京成電鉄上野公園駅(現京成上野駅)開業
- 昭和 60 (1985) 年
東北・上越新幹線開業

(2) 上野の現状

● 空港直結の日本の玄関口、交通結節点



京成スカイライナー



国内外からのアクセス性の高さ

- 上野には、成田空港に直結する京成スカイライナーや、東北新幹線・北陸新幹線の発着駅があり、世界と東京、東日本と東京をつなぐ交通結節点となっている

● 日本屈指の文化施設が集積

- 上野の文化の杜には海外の主要都市と比較しても遜色のない、日本屈指の主な文化施設が集積している

上野の文化施設



東京都美術館



国立科学博物館



東京国立博物館



国立西洋美術館



東京文化会館



上野の森美術館

世界主要都市の文化・芸術施設の集積状況



東京(上野「文化の杜」) 上図に含まれる施設の合計

来場者数	1300万人
総延面積	18.4万㎡
公園面積	約80万㎡(各施設池含む)
収蔵品数	約400万点

※各来場者数は年間



ロンドン ロンドン中心部の国立博物館/美術館の合計

来場者数	1500万人
総延面積	15.6万㎡
公園面積	—
収蔵品数	約700万点



パリ パリ中心部の国立博物館/美術館の合計

来場者数	1700万人
総延面積	31万㎡
公園面積	44万㎡
収蔵品数	約38万点(※ゾロウセターを除く)



ワシントンD.C. ナショナルモール内のスミソニアン博物館/ナショナルギャラリーの合計

来場者数	2760万人
総延面積	38万㎡
公園面積	220万㎡
収蔵品数	約395万点 (ナショナルギャラリー/国立アメリカ歴史博物館/ハーシュホーン博物館/国立アメリカインディアン博物館/フリーア美術館の合計)

(出典：東京都文化ビジョン)

● 特徴ある商業施設や大衆文化が集積

- 上野駅周辺から御徒町駅周辺の広範にわたり、「アメ横」「ジュエリータウン」をはじめとした個性豊かで活気ある商業エリアが形成されるとともに、江戸から続く大衆文化も色濃く残る



アメ横



ジュエリータウン



大丸松坂屋百貨店



鈴木演芸場

(3) 上野の課題

● まちの物理的な構造（道路・線路・高低差等）



上野恩賜公園の崖線



首都高速1号上野線と昭和通り

- 道路・線路・高低差等の物理的な分断要因により、地区全体の歩行者回遊性が低く、杜とまちのつながりが希薄である

● 複雑な都市基盤

各基盤施設の個別整備・更新（連携不足）により動線が複雑で視認性が悪く、空間認識が困難



JR 上野駅前の現況

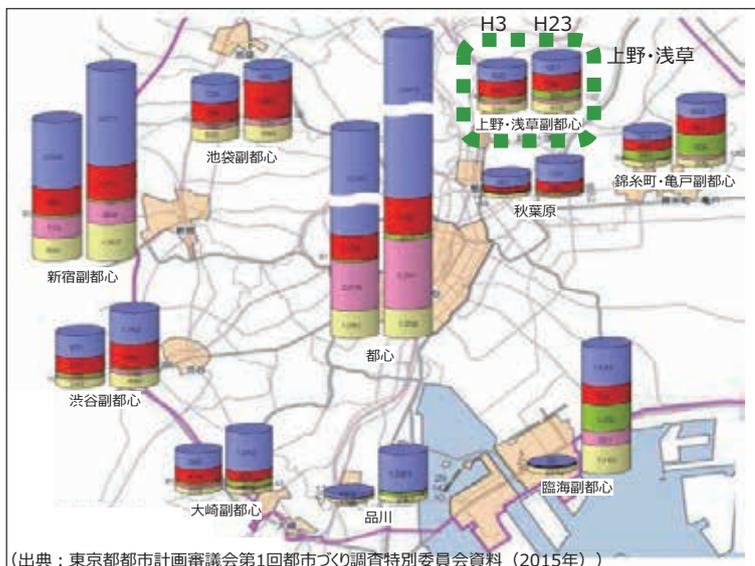
- 現在のJR上野駅正面は、動線が複雑で視認性が低い
- さらに国際都市の顔に相応しいおもてなし空間を創出する必要がある



杜とまちをつなぐパンダ橋

- 「杜」と「まち」をつなぐパンダ橋（東西自由通路）は、賑わいが不足している

● 機能集積度の相対的な低下



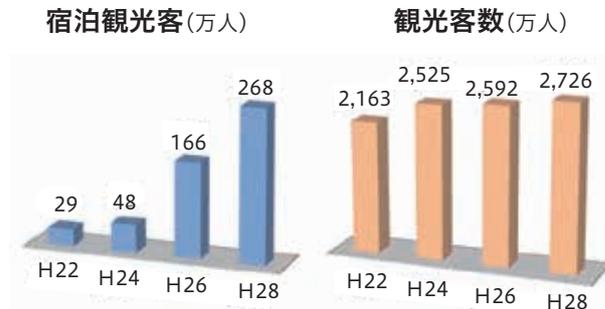
都内主要拠点における機能の集積状況

- 都内の他拠点に比べ商業・業務等の床面積の増加が少なく、機能集積度も低い

凡 例	
	センターコアエリア範囲
	拠点地区
	業務：事務所施設の床面積合計
	商業：専用商業施設、住商併用施設の床面積合計
	住宅：独立住宅、集合住宅の床面積合計
	生活：官公庁施設、教育文化施設、厚生医療施設の床面積合計
	その他：専用工場、住居併用工場、倉庫・運輸関係施設、宿泊遊興施設、スポーツ・興行施設、供給処理施設の床面積合計

(4) 上野の将来を見据えた対応

● 観光客のさらなる増加への対応



上野地区の観光入込客数の推計（台東区観光・マーケティング調査より作成）

- 平成 28 年には、年間約 2,700 万人が上野地区に来訪した
- 上野恩賜公園は、年間約 1,213 万人が訪れる観光拠点となっている
- 日本の玄関口、交通結節点としてわかりやすく、利用しやすい空間とおもてなし機能の強化が必要である

● ポストモータリゼーションへの対応とひと中心の都市への転換



大阪・御堂筋パークレット

東京・丸の内仲通り

- 自動車依存型から歩行者中心の都市への転換（ポストモータリゼーション）や、人の滞留と活動を促すためのパブリックスペース（公共空間）デザインが求められる
- 歩行者、スローモビリティに対応した都市空間の整備が必要である

● 周辺の多彩な地域資源との連携



- 東京藝術大学、東京大学などの日本屈指の学術・研究機関が立地している
- 「浅草」「秋葉原」「谷中」「湯島」などの多彩な地域資源が隣接している
- 上野の魅力や価値の向上により、連携する周辺エリアへさらなる波及効果をもたらす

● 潜在的なまちづくりの可能性と上野の使命

- 上野には、世界に誇る資産や多様で歴史ある魅力が集積しており、杜とまちを重ね・つなげ、杜とまちの相乗効果を発揮することで、日本の文化芸術立国を牽引し、国際競争力を強化する文化・芸術の創造発信拠点を形成することが期待される

(5) 上野への期待

● 上野の活動に関わるプレイヤー等の声

ビジョン策定委員会及び「平成30年度上野地区まちづくりブランディング調査」(台東区)、その他ヒアリング等における意見を一部掲載

杜のプレイヤー



アーティスト

- 多様なジャンルのアーティストや発信者を受け入れつなぐ場づくりが必要である
- 上野で育つアーティストが活動できる場を提供してほしい (スタジオ・展示場)
- 公園でのイベントを継続的に支え育てるテクニカルチームの常駐が必要である



寺の住職
神社の神職

- 上野の原点としての寛永寺について周知する必要がある
- 公園と寺の連携が求められる (江戸期の景色を再現するスポットの整備等)
- 参拝者等が心を落ち着け、清々しい気分になれる環境を充実してほしい



学芸員・
研究者

- 美術館・博物館・公園の連携と一体的な空間づくりが必要である
- 社会課題解決の場としてのミュージアムの活躍が求められる
- 杜を訪れる世代層の幅広さを活かしたブランディングを構築したい

まちのプレイヤー



住民

- 観光客増加への的確な対応による安全で快適な居住環境を維持したい
- 住民ニーズに応じた買い物環境を充実してほしい (百貨店・スーパー等)
- 住民や来訪者、住民同士の交流機会の創出が必要である (イベント等)



ものづくりに
携わる人

- 若者が出店したくなるイメージの場所や参加しやすい機会の創出が必要である
- 駅構内で情報発信する場所を提供してほしい (地域産業の実演等)
- クリエイター・職人同士がつながるための場所・機会を創出してほしい



商業者

- コト消費の観光客を捉えた回遊性の向上や長時間滞在を実現したい
- 各店舗がまちの発信基地となることによる消費者の回帰性の向上が必要である
- 若者や女性も楽しめる発見のあるまち (アンテナショップ等) になってほしい



上野に興味をもつ
人々の声

- 既存の文化に新しいカルチャーを重ねて取込む新たな客層の確保が必要である
- 上野の歩き方、遊び方を世界的にわかりやすく発信してほしい
- 杜とまちが両方あってこそその上野という魅力がさらに伝わるとよい

コラム

上野の杜における資源・構想

■ 「国立西洋美術館」世界文化遺産の認定

「国立西洋美術館」は「ル・コルビュジエの建築作品」の構成資産 (7カ国 17施設) のうちの1つとして、平成28年7月17日に世界文化遺産に認定された。



国立西洋美術館
The National Museum of Western Art

認定の際には、コルビュジエが提唱した「無限成長美術館」という美術館空間の新しいコンセプトを示している点が評価された。

■ 上野「文化の杜」新構想

上野恩賜公園周辺の各機関・団体が相互に連携・協力することで、それぞれが保有する文化芸術資源の潜在価値をより顕在化させ、その資源の有効活用と相乗効果の増大を促し、上野恩賜公園を中心とした区域を新たに「文化の杜」として位置づけ、日本のみならず国際的な文化の中心・シンボルとするための構想。



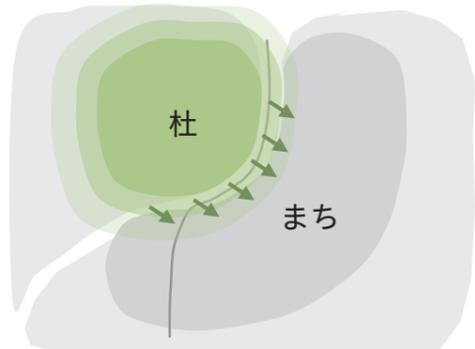
上野文化の杜
UENO Cultural Park

3 上野の将来像

(1) 上野の将来像の考え方

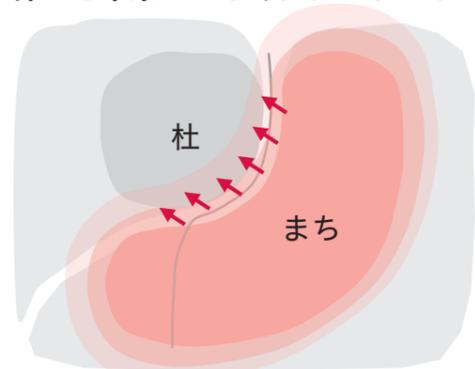
■ 杜を磨き、杜をひろげる

- ◆ 杜の資源の価値・魅力を高める都市機能の強化
- ◆ 杜の賑わい向上に向けた環境づくり
- ◆ 杜の活動の連携体制の構築



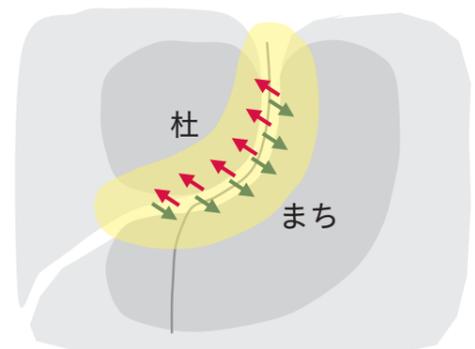
■ まちを育て、まちをひろげる

- ◆ 「上野」らしさの価値をあげる都市機能の強化
- ◆ 将来の変化に対応した、しなやかな都市空間の形成
- ◆ 懐の深さを未来へつなぐプラットフォームの構築



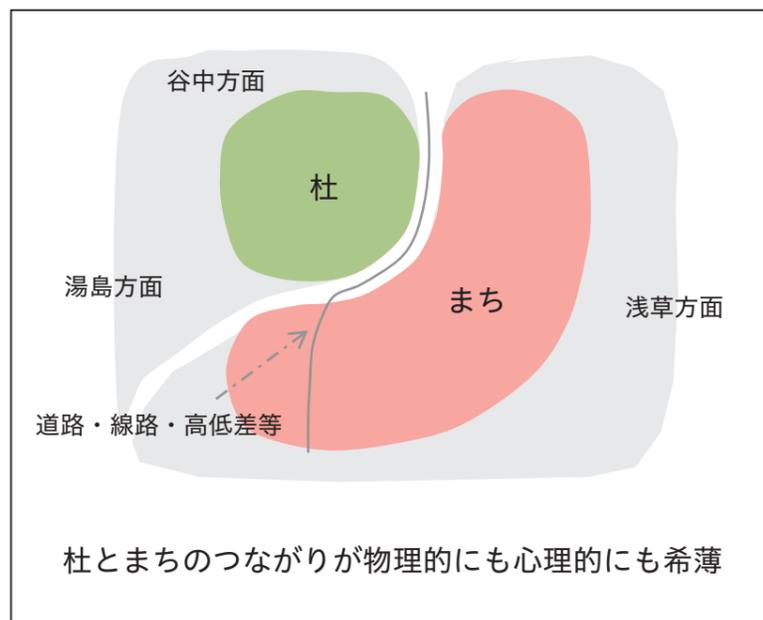
■ 杜とまちを重ね、つなげる

- ◆ 杜とまちをわかりやすくつなぐ上野の歴史を活かした都市空間の創出
- ◆ 杜とまちの相乗効果を生み出す都市機能の導入
- ◆ 地域の価値・魅力向上のための『杜-まちマネジメント』

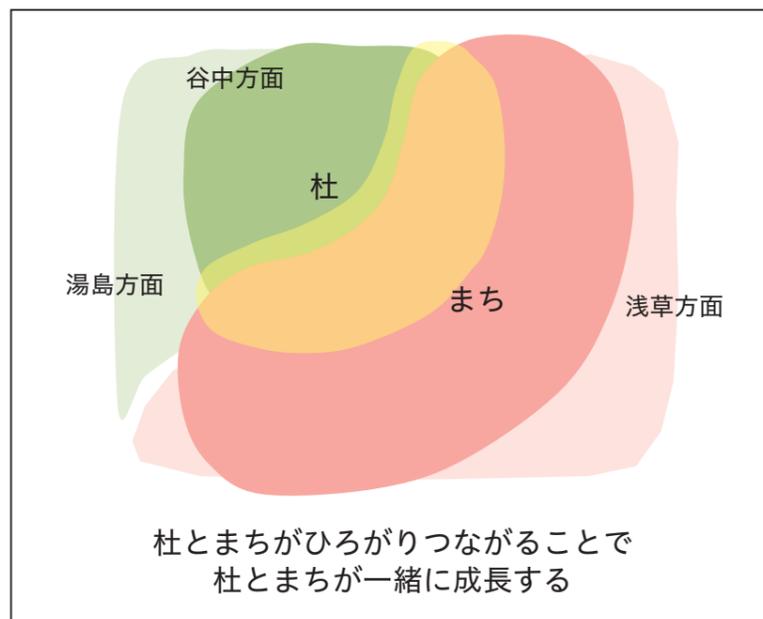


※『杜』は上野恩賜公園およびその隣接地区、『まち』はアメ横、上野6・7丁目および東上野周辺等ビジョン範囲の東側の地区を指す

現状



将来像



将来像実現につながる取組みの紹介

■ 東京・春・音楽祭

桜咲く上野を舞台に東京の春の訪れを音楽で祝う、国内最大級のクラシック音楽の祭典。オペラやオーケストラ、室内楽をはじめとする演奏会から、街角で通りがかりに楽しめる音楽との出会いの場まで、1ヶ月間に亘り、約150公演を開催。会場は、東京文化会館をはじめとする上野公園内外に存在する多数の文化・芸術施設を活用。



■ おかちまちパンダ広場におけるイベント



おかちまちパンダ広場は、JR御徒町駅南口の西側に広がる約1674㎡の広場空間。広場には、植栽やサークルベンチが設置され、憩いとやすらぎの場を提供するとともに、イベント開催等の場所として年間を通じて活用されており、地域の活性化やまちの賑わい創出に資する役割を担う。

■ JR 上野駅中央コンコースにおけるイベント

JR上野駅中央改札外のグランドコンコースを活用してイベントを実施。季節の催事や東日本各地の産直市などを開催することで、上野と地方都市をつなぎ、地域の魅力や情報を発信。



■ 東京メトロ上野駅地下通路「文化の杜路」



東京メトロ上野駅地下通路にあるインフォメーションパネル。駅近傍において、公園内にある多様な文化施設を紹介し、「上野文化の杜」の情報発信機能を担う。

■ 京成電鉄旧博物館動物園駅駅舎の活用

かつて京成上野駅～日暮里駅間で営業していた旧博物館動物園駅の駅舎を活用し、上野エリアにおける新たな文化・芸術の創造の場として、2018年にリニューアルを行った。



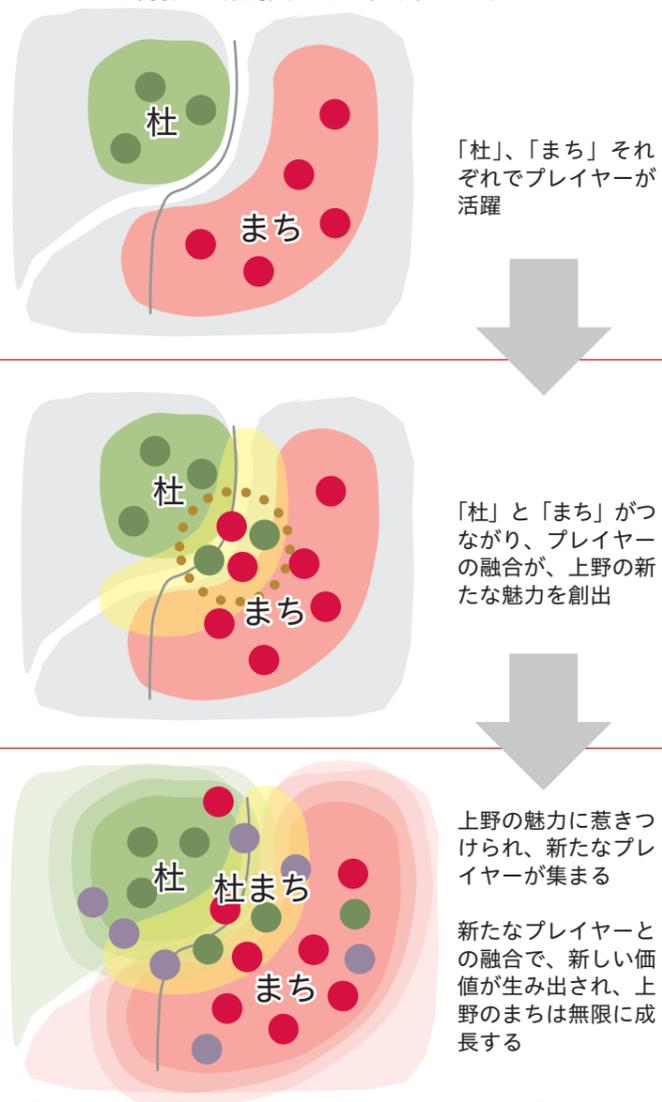
3 上野の将来像

(2) 上野の将来像

杜の文化とまちの賑わいが 共演する舞台“上野”

すい いき
～世界の粋・東京の粋～

すい いき
粋がもたらす人々の体験・感動・
営みが、さらなる粋を生み、文化・
芸術が無限に成長するまち



杜が世界に誇る文化・芸術資源 (世界の粋)を極めている

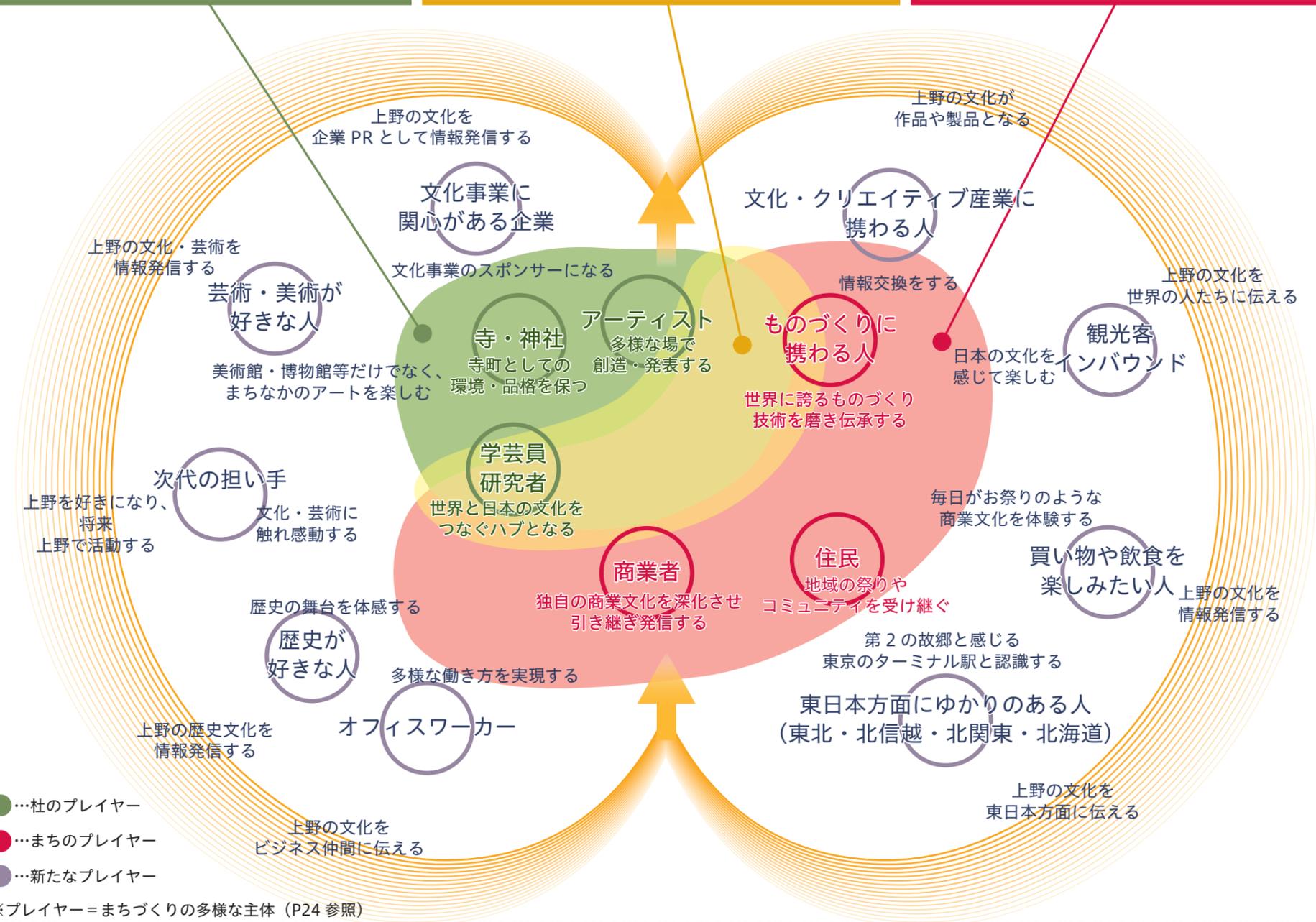
- 杜をこえた多種多様な場で人々と関わりながら、文化・芸術が創造・表現されている
- 世界の文化・芸術の交流の拠点になっている
- 寛永寺とその門前町という関係性を活かし、寺町としての魅力が向上している

杜とまちとそのつながりが、世界中の人々を惹きつけ、 そこでの体験・感動・営みが新たな粋を生んでいる

- 世界中の人々が、杜とまち全体を見渡し、自由に行き交い、体験・感動している
- 杜とまちでの体験・感動が世界中に発信され、惹かれた人々が次々に上野を訪れている
- 杜とまちでの体験・感動をきっかけに、惹かれた人々が上野で新たな営みをはじめている

まちが、多様で特色ある文化・歴史資源 (東京の粋)を包摂している

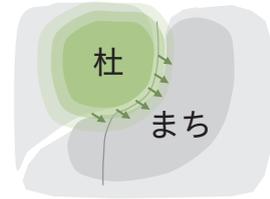
- 誰もが懐の深さを感じながら、多様なことを受け入れ包摂(インクルージョン)している
- 時代を超えて、個性ある商業文化が、独自の発展を遂げ続けている
- 日本を代表するものづくり技術が、新しい世代に伝承され、新たな価値が創造・発信されている
- 地域の祭り等の伝統行事や生活が、新たな世代や住民に受け継がれ洗練されている



(1) 杜の取組み

■ 杜を磨き、杜をひろげる

- ◆ 杜の資源の価値・魅力を高める都市機能の強化
- ◆ 杜の賑わい向上に向けた環境づくり
- ◆ 杜の活動の連携体制の構築



◆ 杜の資源の価値・魅力を高める都市機能の強化

■ 杜 1 文化・芸術の創造・表現の場づくり

- 【杜 1-①】 文化・芸術の創造・表現・展示機能の拡充
(例：イベント広場、レプリカ展示やプレゼンスペース、地域回遊アートプログラム)
- 【杜 1-②】 文化・芸術の情報発信や案内機能の強化
(例：体験型ミュージアム、共通案内板)
- 【杜 1-③】 不忍池の文化利用の推進
(例：水辺を活かした公共空間再生、水辺を利用した文化・芸術活動、自然環境の維持)



水辺を活かした芸術活動

■ 杜 2 文化・芸術の交流の場づくり

- 【杜 2-①】 文化・芸術の核となる交流拠点の整備
(例：交流広場、バンケットルームを併設するホテル)
- 【杜 2-②】 文化・芸術の人材育成やインキュベーションを促進する機能の導入
(例：サテライトキャンパス、共同制作スペース、技術や研究のプレゼンスペース)
※取組みの例については、これに限定するものではなく、あくまで例示列挙した取組みを示す（以下同じ）

◆ 杜の賑わい向上に向けた環境づくり

■ 杜 3 文化の杜に相応しい賑わいや公園機能の維持・向上

- 【杜 3-①】 公園内の移動や周辺地域との回遊性を高める環境整備
(例：歩行空間拡充、バリアフリー対応、周辺地域との回遊性を高める拠点整備、二次交通導入)
- 【杜 3-②】 貴重なみどりと水辺の空間を活かした滞在場所の整備
(例：屋内休憩所、屋根付き屋外無料休憩所、芝生広場)
- 【杜 3-③】 子供の文化的接触や知育を視野に入れた託児サービスの拡充
- 【杜 3-④】 地域防災力の向上に資する災害時の活動拠点機能の充実
(例：防災備蓄倉庫、簡易救急対応の医療施設、休憩スペースを兼ねた一時滞在施設)

ブライアントパーク@ニューヨーク
芝生広場イメージシェアグリーン南青山@東京
屋根付き休憩所イメージ

◆杜の活動の連携体制の構築

杜 4 杜全体を支えるマネジメント体制の構築

【杜 4-①】 杜のマネジメント体制の構築

(例：マネジメント組織の法人化、各館連携プロジェクト)

【杜 4-②】 杜全体が一体となり外部に開かれた、各館連携による共同展示や共同保管施設の整備



各館が連携した取組みの例（上野ウェルカムパスポート）



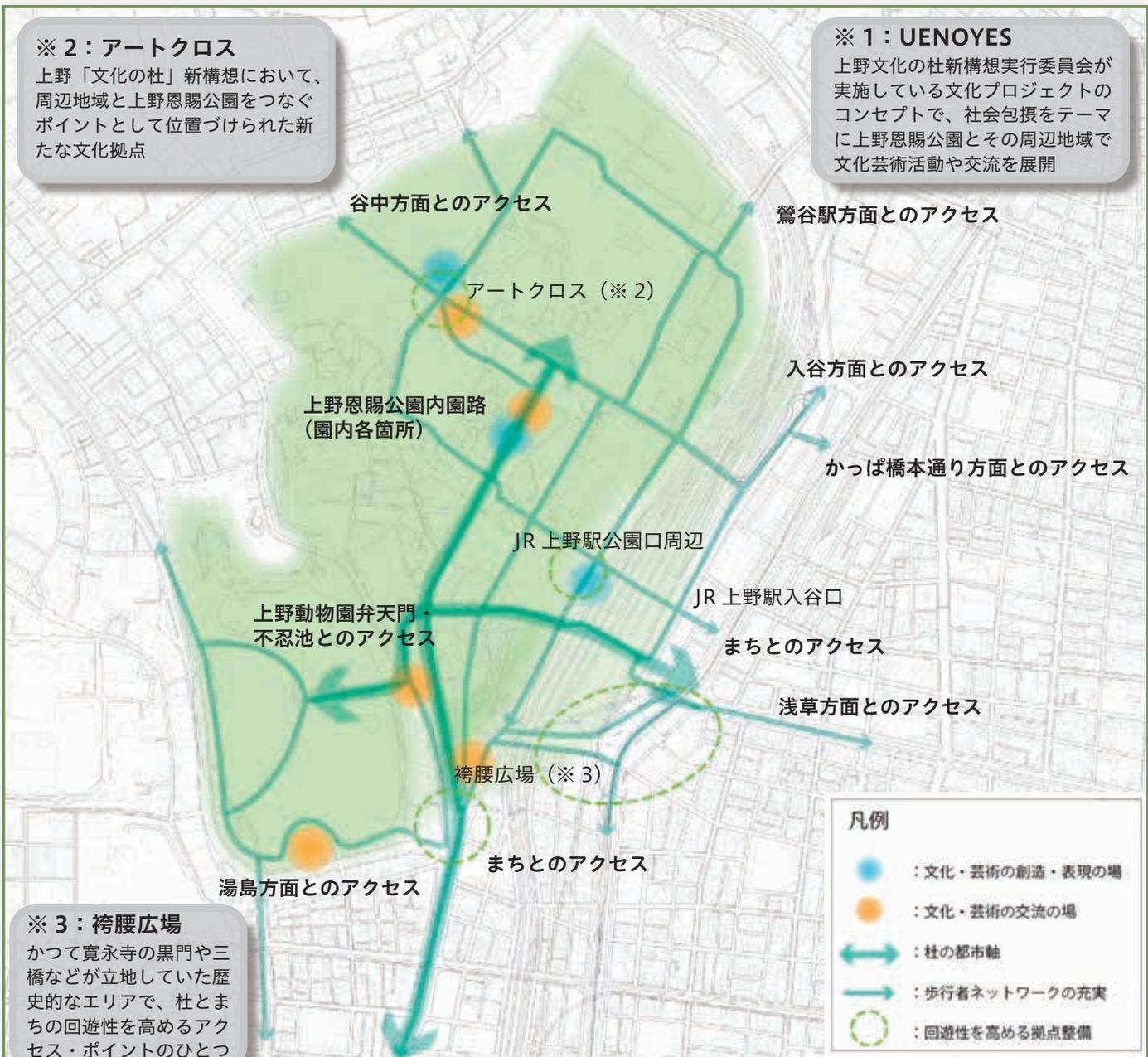
UENOYES イベント（※ 1）

※ 2：アートクロス

上野「文化の杜」新構想において、周辺地域と上野恩賜公園をつなぐポイントとして位置づけられた新たな文化拠点

※ 1：UENOYES

上野文化の杜新構想実行委員会が実施している文化プロジェクトのコンセプトで、社会包摂をテーマに上野恩賜公園とその周辺地域で文化芸術活動や交流を展開



※ 3：袴腰広場

かつて寛永寺の黒門や三橋などが立地していた歴史的なエリアで、杜とまちの回遊性を高めるアクセス・ポイントのひとつ

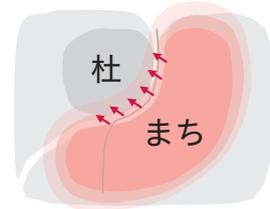
※上記の矢印等の表記については、検討項目の考え方を示したものであり、実際に整備される施設等を明示したものではありません。

4 取組みの方向性

(2) まちの取組み

■ まちを育て、まちをひろげる

- ◆ 「上野らしさ」の価値をあげる都市機能の強化
- ◆ 将来の変化に対応した、しなやかな都市空間の形成
- ◆ 懐の深さを未来へつなぐプラットフォームの構築



◆ 「上野らしさ」の価値をあげる都市機能の強化

まち1 世界中の人々を惹きつけ迎え入れる案内・交流の場づくり

- [まち 1-①] まちの資源の案内・サービス機能の強化
(例：ユニバーサルな案内・サービス機能、多言語化対応)
- [まち 1-②] まちの交流機能の導入
(例：公共空間での共同イベント、シェアリング機能)
- [まち 1-③] まちの滞在機能の整備
(例：まちを見渡せる休憩機能、潤いのある屋外広場機能)
- [まち 1-④] まちの情報発信機能の強化
(例：地域産業・ものづくり産業やまちの歴史・大衆文化の育成・発信機能、一体感のあるサイン戦略)

まち2 来街者に安全安心を提供するエリア防災力の向上

- [まち 2-①] 平時の営み（まち 1、3、4、5）の中で実現するエリア防災力の向上 ～防災【も】まちづくり～
(例) 防災活動拠点の充実
 - ・ 滞留者一時滞在スペース
 - ・ 災害時における多言語での情報発信機能
 - ・ 防災備蓄倉庫、非常用発電設備等道路空間活用等による帰宅困難者対策の充実



案内・交流の場(防災活動拠点)のイメージ

まち3 上野で住み、働くための都市機能の強化

- [まち 3-①] 商業・業務・宿泊・住宅等の多様で質の高い都市機能の導入
- [まち 3-②] 職住近接の都心居住の促進とまちへの愛着を継承する地域コミュニティの強化
- [まち 3-③] 地球環境に配慮した快適で持続可能なみどりあふれる都市環境の実現

◆ 将来の変化に対応した、しなやかな都市空間の形成

まち4 積み重ねた歴史が息づくまちの景観形成と賑わいのルールづくり

- [まち 4-①] まち全体の理念を共有するまちづくり憲章の策定
- [まち 4-②] まちの賑わいを創出するエリア特性をふまえたルールづくり
 - ・ 建物の更新ルールづくりとまちなかにおけるオープンスペースの創出
 - ・ 景観形成ルールづくり（中央通り・学問のみち等）
 - ・ 道路空間活用のルールづくり(例：中央通りにおける歩行者天国等の実施検討、アメ横及び周辺地域での商業の集積を活かした適正な道路利用（荷捌きの集約・道路活用）)



かつての中央通りにおける歩行者天国の様子

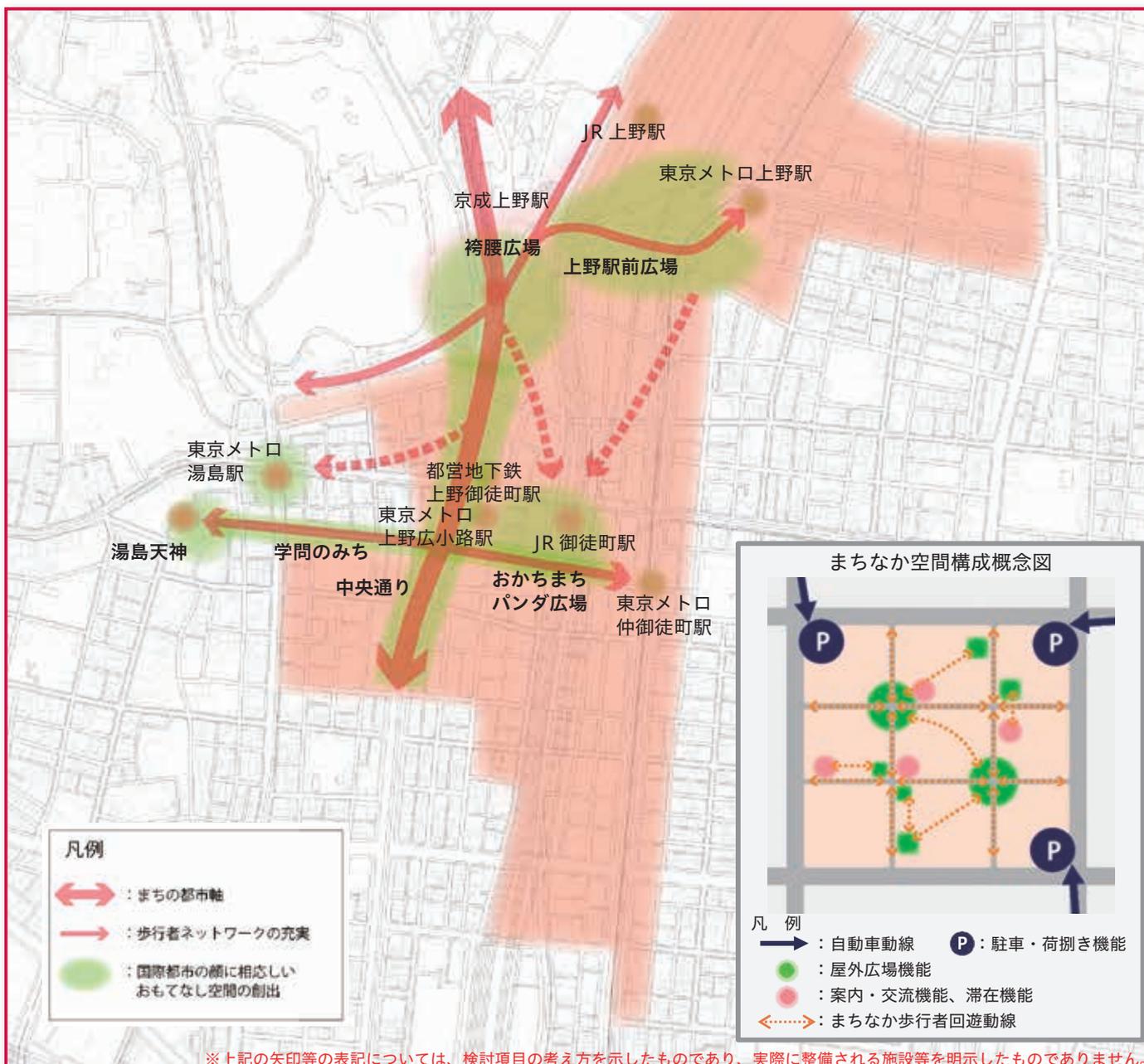
◆懐の深さを未来へつなぐプラットフォームの構築

まち5 まち全体を支えるマネジメント体制の構築

[まち5-①] 戦略的に実施すべき取組みの実施や、エリアにおける共有財産を主体的に管理・活用するための、まちの既存組織に横串を通したエリアマネジメント組織・体制づくり



おかちまちパンダ広場におけるイベント開催



4 取組みの方向性

(3) 杜まちの取組み

■ 杜とまちを重ね、つなげる

- ◆ 杜とまちをわかりやすくつなぐ上野の歴史を活かした都市空間の創出
- ◆ 杜とまちの相乗効果を生み出す都市機能の導入
- ◆ 地域の価値・魅力向上のための『杜-まちマネジメント』



◆ 杜とまちをわかりやすくつなぐ上野の歴史を活かした都市空間の創出

杜まち 1 杜とまちを自由に行き交うことができる、ひと中心の空間活用と歩行者ネットワーク強化による回遊性向上

- [杜まち 1-①] 上野恩賜公園とまち、駅及び周辺エリアをつなぐわかりやすい歩行者ネットワークの整備
- [杜まち 1-②] アクセス視認性を確保した縦動線と歩行者空間の整備
- [杜まち 1-③] 歩行者優先のための道路空間再配分と駐車・荷捌き機能の再編
- [杜まち 1-④] 杜とまち全体の情報収集が可能なまちなかインフォメーションセンターの整備
- [杜まち 1-⑤] 災害時避難場所である上野恩賜公園への避難動線の確保



ランブラス通り@スペイン

公園とまち・駅をつなぐわかりやすい歩行者ネットワーク



アントワープ中央駅@ベルギー

アクセス視認性を確保した縦動線

杜まち 2 日本の玄関口となる交通結節点として、国際都市の顔に相応しいおもてなし空間の創出

- [杜まち 2-①] 上野恩賜公園とまち、駅をつなぐ駅の正面性を活かした風格ある歩行者広場空間の創出
- [杜まち 2-②] 駅を中心とした交通機能の集約等による、わかりやすい交通結節点の創出



うめだコンコース広場@大阪

国際都市の顔に相応しい風格ある歩行者広場空間



セントパンクラス駅@ロンドン

駅を中心とした交通機能の集約による交通結節点

◆杜とまちの相乗効果を生み出す都市機能の導入

杜まち3 杜とまちが重なる場所に、杜とまち全体を体験・感動できる機能の導入・誘導

【杜まち3-①】 杜とまちの賑わい向上と相乗効果を生み出す機能の導入

(例：文化・芸術の創造・表現・交流の場、まちなか展示スペース、みどり、観光・防災拠点)

【杜まち3-②】 杜とまちが見渡せる視点場と、杜とまちから見える象徴的空間の整備

(例：展望空間、象徴的な建築物、アート作品)

杜まち4 上野を訪れ、上野で住み、働くための国際都市に相応しい機能の強化

【杜まち4-①】 商業・業務・宿泊・住宅等の多様で質の高い持続可能な都市機能の導入

【杜まち4-②】 ホール・展示・交流機能等を兼ね備えた質の高い宿泊施設の誘致

【杜まち4-③】 イベントやシンポジウムが開催可能なスペースの創出

【杜まち4-④】 上野恩賜公園とまちをつなぐ駅周辺エリアでの共同託児所の整備と生活利便施設の併設



インダストリーシティ@ニューヨーク
文化・芸術の創造・表現・交流の場



八戸まちなか広場 マチニワ@青森
展示・イベントスペース



ノーガホテル上野
地域産業と連携したイベントを実施する宿泊施設

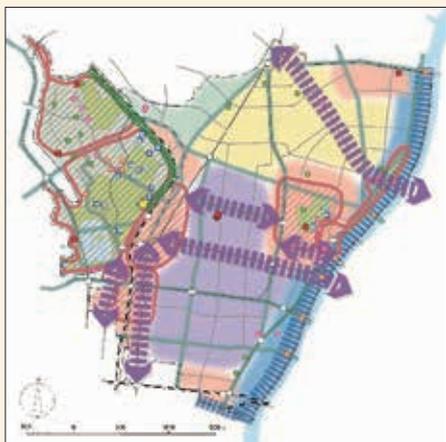
◆地域の価値・魅力向上のための『杜-まちマネジメント』

杜まち5 杜～まちをつなぐマネジメント連携体制の構築

【杜まち5-①】 地域特性に応じた景観のルールづくり

【杜まち5-②】 駅周辺における導入機能の運営・管理を行うマネジメント体制の構築

【杜まち5-③】 平常時の避難訓練、災害時の避難誘導等の防災機能を備えたマネジメント組織の充実



台東区都市計画マスタープラン
景観まちづくり方針図

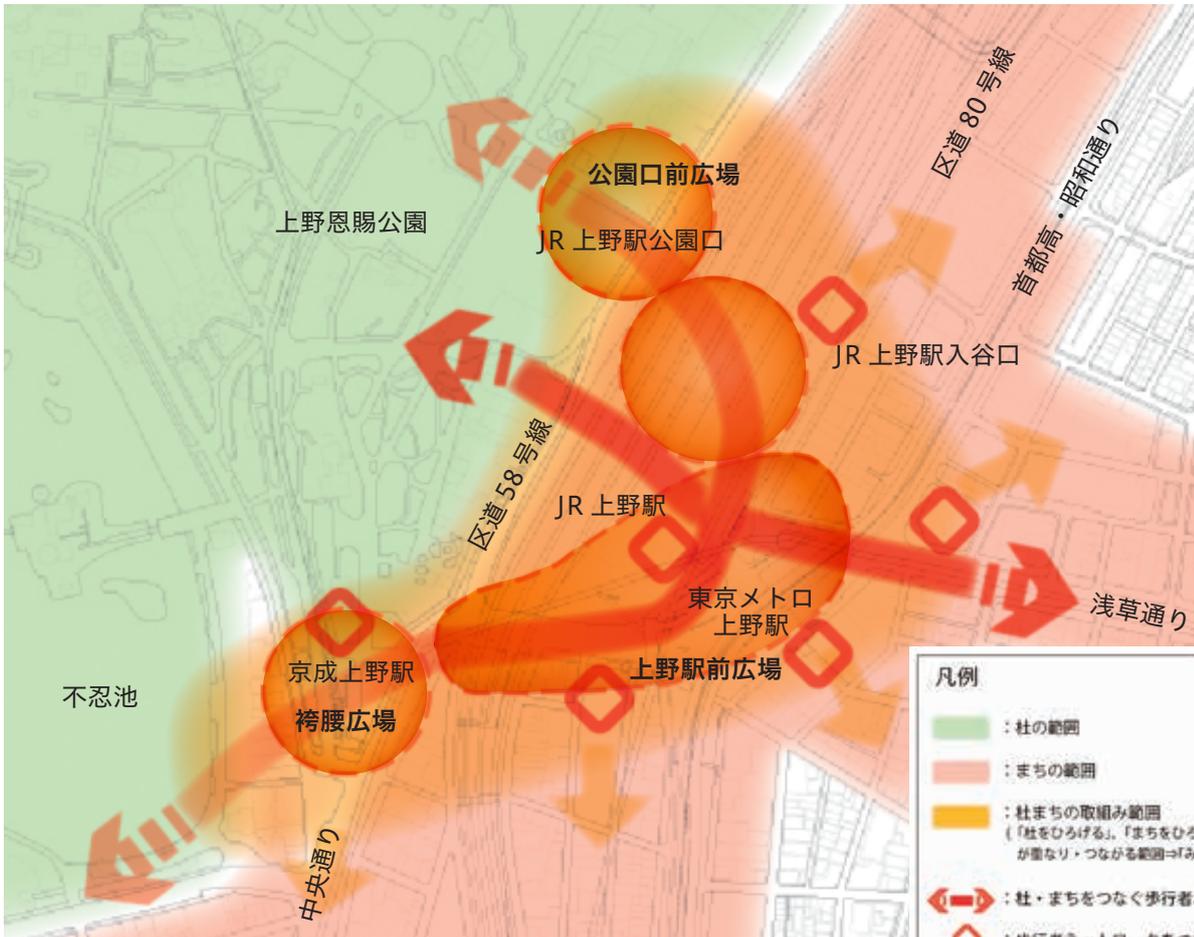


おかちまちパング広場における防災イベント



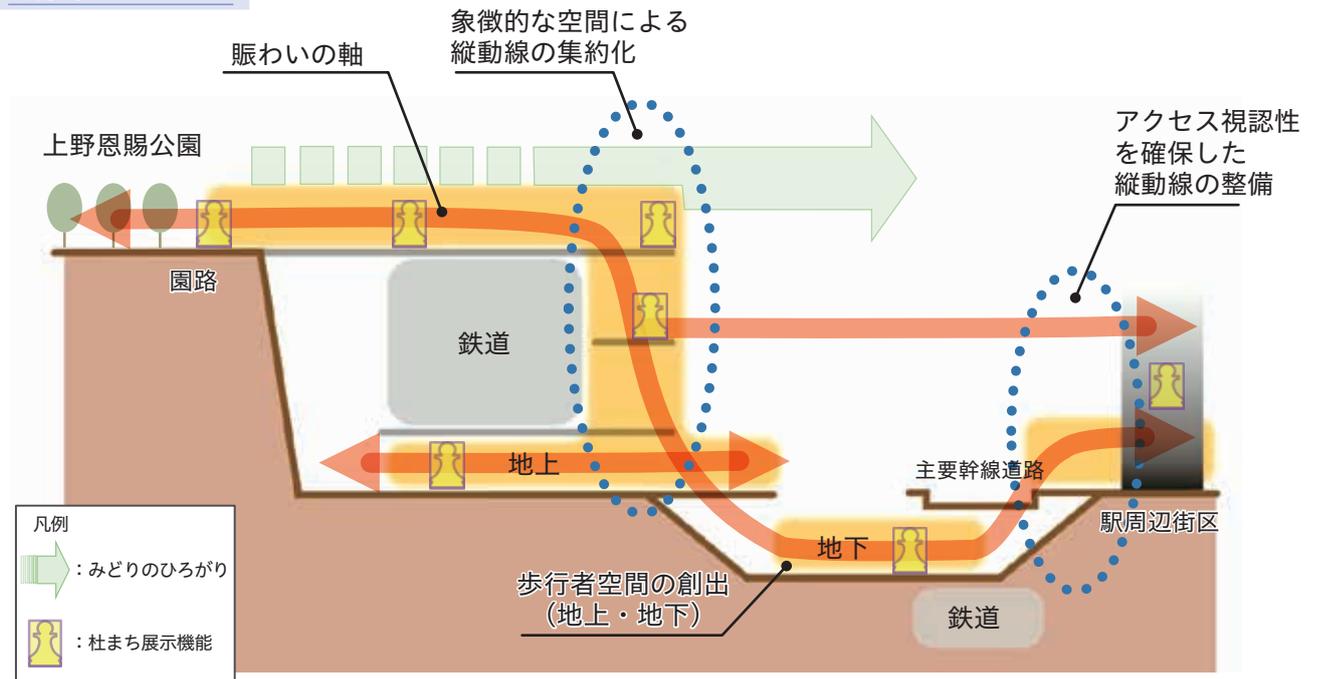
4 取組みの方向性

平面イメージ



凡例	
	: 社の範囲
	: まちの範囲
	: 社まちの取組み範囲 (「社をひろげる」、「まちをひろげる」により取組みが重なり・つながる範囲⇒「みんなの広小路」)
	: 社・まちをつなぐ歩行者ネットワーク
	: 歩行者ネットワークをつなげる縦動線
	: 国際都市の顔に相応しいおもてなし空間

断面イメージ



凡例	
	: みどりのひろがり
	: 社まち展示機能

※上記の矢印等の表記については、検討項目の考え方を示したものであり、実際に整備される施設等を明示したものではありません。

「みんなの広小路」

寛永寺の参道にあたる「下谷広小路」（現中央通り）周辺は、明暦の大火以降、江戸幕府により延焼防止の火除け地として広大な更地を確保して大空間が創出されたが、江戸の町人たちはそれを放っておかず、次第にその空き地に仮設の小屋を建て始め、賑わいの場へと変貌した。

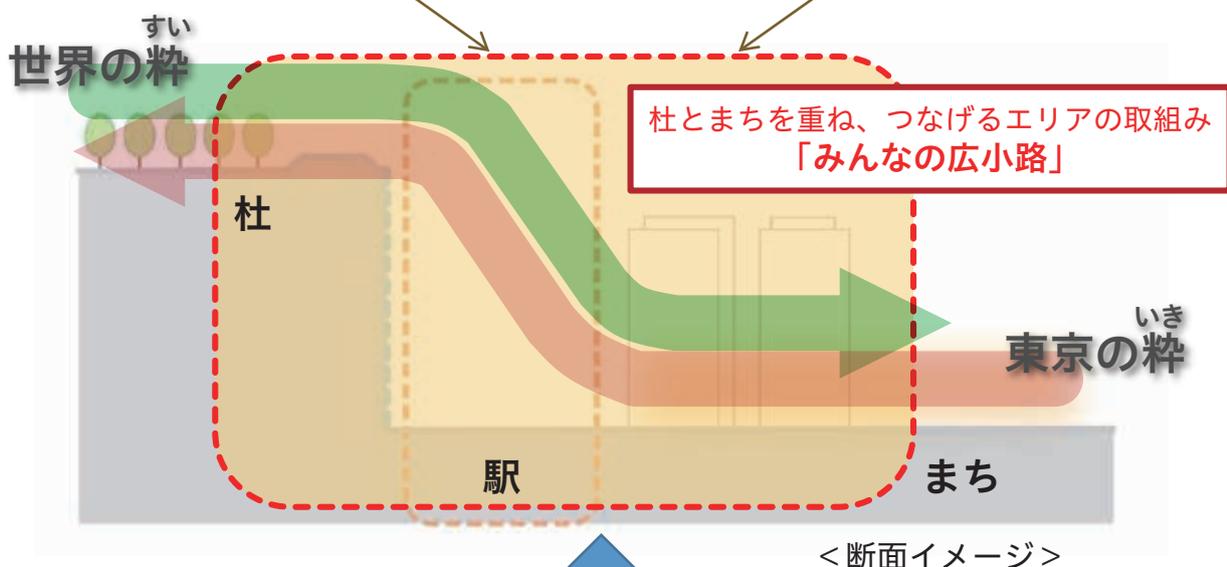
「みんなの広小路」は、上野の将来像における『杜まち』の人々みんなで共有し活用する舞台（都市空間）として、現代に甦る『広小路』となる。

◆杜とまちをわかりやすくつなぐ 上野の歴史を活かした都市空間の創出

- 杜とまちを自由に行き交うことができる、ひと中心の空間活用と歩行者ネットワーク強化による回遊性向上
- 日本の玄関口となる交通結節点として、国際都市の顔に相応しいおもてなし空間の創出

◆杜とまちの相乗効果を生み出す都市機能の導入

- 杜とまちが重なる場所に、杜とまち全体を体験・感動できる機能の導入・誘導
- 上野を訪れ、上野で住み、働くための国際都市に相応しい機能の強化



◆地域の価値・魅力向上のための『杜-まちマネジメント』

4 取組みの方向性

(4) 上野地区全体の取組み

杜・まち・杜まちエリアでの取組みを集約した地区全体の取組みとまちづくりの方向性

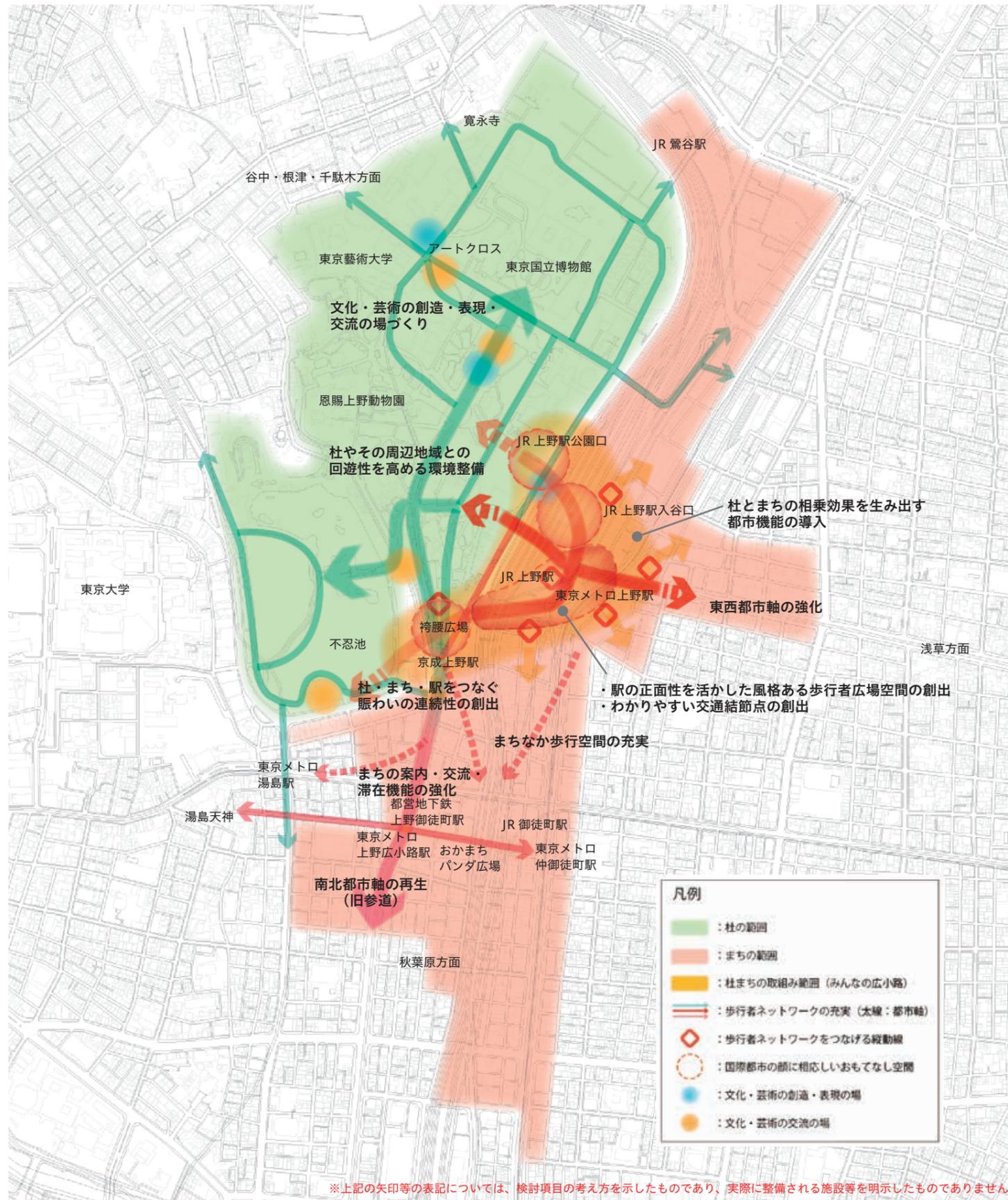
国際競争力を強化する文化・芸術の創造発信拠点の形成



歩行者優先のわかりやすい都市空間の創出



国際都市の顔に相応しい駅前空間の創出



世界中の人々を迎え入れるおもてなし機能の強化



上野を訪れ、上野で住み、働くための都市機能の強化



平時の営みの中で実現するエリア防災力の強化



杜まち全体の魅力が向上するエリアマネジメントの推進



(1) 目標スケジュール

2040年代頃のビジョンの将来像実現に向けて、短期・中期・長期の大きなスケジュール目標を設定の上、まちづくりを推進する

- 短期（2020年代）…ビジョンの実現・事業化に向けた推進体制の構築や事業化検討の深化、イベント等のソフト施策と連携した取組みなどを中心に推進

【取組みの具体例】

- ①文化・芸術施設が相互連携した創造・表現・展示活動や情報発信の拡充（文化の杜イベント実施 等）
- ②まちの資源を活用した案内・交流機能の拡充（中央通りを活用したまちのイベント実施 等）
- ③上野恩賜公園とその周辺地域の回遊性を高める歩道空間の整備と活用（パンダ橋の活用 等）
- ④エリアマネジメント体制の構築と杜・まちの連携強化
（ルールづくり、共同イベント実施、共通案内板・テナント設置、共通ロゴマーク作成 等）
- ⑤駅周辺における多様で質の高い持続可能な都市機能の導入（東上野4丁目 等）

- 中期（2030年代）…本格的な事業推進に向けて実施すべき先行事業や、見本となるリーディングプロジェクトを中心に推進

- 長期（2040年代）…将来像を実現する本格的なまちづくり事業を推進し、まちづくりの総仕上げを実施

年代	短期（2020年代）	中期（2030年代）	長期（2040年代）	杜・まち・杜まちの取組み		
主な節目	2023年 関東大震災100年 2025年 寛永寺開基400年 2027年 銀座線開通100年	2032年 JR上野駅舎落成100年 2033年 京成上野駅開業100年	2047年 台東区発足100年	杜の取組み	まちの取組み	杜まちの取組み
上野地区全体の取組み						
国際競争力を強化する文化・芸術の創造発信拠点の形成	取組みの拡充（既存施設の有効活用）	文化・芸術の創造・表現・交流の場の整備		1-① 4-② 1-② 2-① 2-②	1-②	3-① 4-② 4-③
歩行者優先のわかりやすい都市空間の創出	既存施設の改修・有効活用	杜とまちをつなぐ歩行者ネットワークの強化		3-①	4-②	1-① 1-② 1-③
国際都市の顔に相応しい駅前空間の創出	調査・検討	風格ある歩行者広場空間の創出 わかりやすい交通結節点の整備				2-① 2-②
世界中の人々を迎え入れるおもてなし機能の強化	案内・サービス機能と交流機能の強化	公園機能の維持・向上 インフォメーションセンターの整備 杜まち全体を体験・感動できる機能の導入		1-② 3-② 3-③	1-① 1-② 1-③ 1-④	1-④ 3-① 3-②
上野を訪れ、上野で住み、働くための都市機能の強化		多様で質の高い都市機能の導入			3-① 3-② 3-③	4-① 4-② 4-③ 4-④
平時の営みの中で実現するエリア防災力の強化	体制の構築	防災活動の強化 防災活動拠点の充実		3-④	2-①	1-⑤ 5-③
杜まち全体の魅力が向上するエリアマネジメントの推進	体制の構築	杜・まち・駅が連携したエリアマネジメントの推進		1-① 1-② 1-③ 4-①	1-④ 4-① 4-② 5-①	5-① 5-②

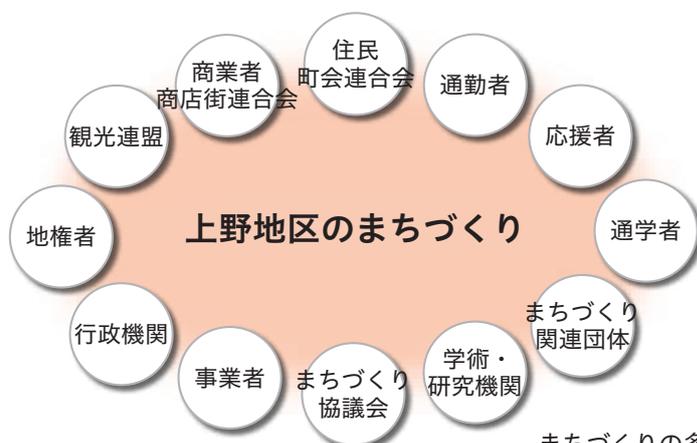
※番号はP13～18の取組みを示し、うち赤字は短期の取組みを示す

1 上野地区まちづくりビジョンとは
2 上野の歴史と現状
3 上野の将来像
4 取組みの方向性
5 将来像の実現に向けて
巻末資料

(2) まちづくりの推進体制

■ 多様な主体の協働によるまちづくりの推進

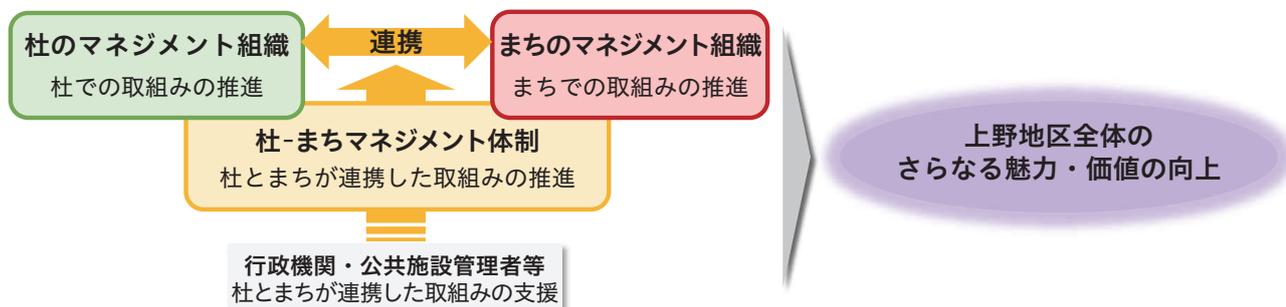
上野地区にかかわる様々な人々や組織が、それぞれの役割を認識し、協働によるまちづくりに取り組む



まちづくりの多様な主体（プレイヤー）のイメージ

■ 社とまち全体を支えるエリアマネジメントの推進

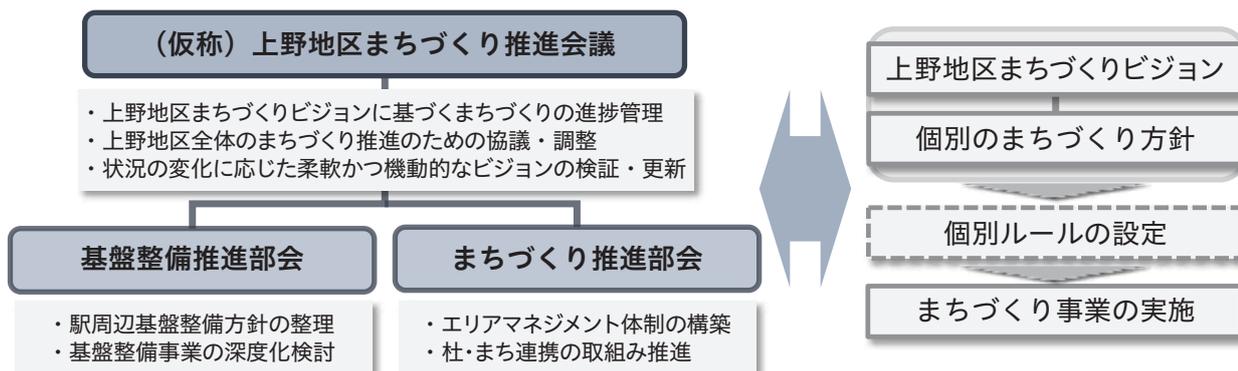
社・まち・杜まちそれぞれのエリアにおける機能・施設間の連携により、地区全体の価値の向上を目指す



エリアマネジメント組織の連携イメージ

■ ビジョンの将来像実現に向けた推進体制

まちづくりを推進する組織（台東区事務局）を立ち上げ、関係機関や事業者、まちづくり組織など多様な主体の調整や事業の進捗管理等を行い、ビジョンに掲げた上野地区のまちづくりを着実に推進する



上野地区まちづくり推進体制のイメージ

1 上野地区まちづくりビジョンとは

2 上野の歴史と現状

3 上野の将来像

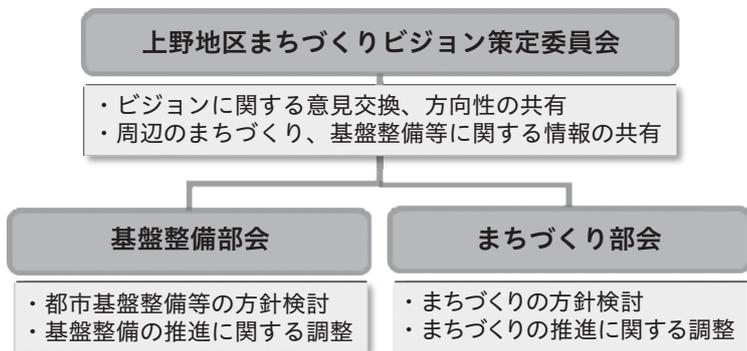
4 取組みの方向性

5 将来像の実現に向けて

巻末資料

巻末資料

検討体制



検討経緯

策定委員会		
平成 29 年 11 月 1 日	第 1 回上野地区まちづくり ビジョン策定委員会	(1) 上野地区まちづくりの将来イメージについて (2) 取り組みの方向性について (3) 今後の進め方について
平成 30 年 6 月 22 日	第 2 回上野地区まちづくり ビジョン策定委員会	(1) 第 1 回ビジョン策定委員会の振り返り (2) 基盤整備部会における検討状況について (3) 副都心上野まちづくり協議会からの提言について (4) 「上野地区の将来像（目指す姿）」と「検討テーマ」について (5) 今後の検討の進め方について
平成 30 年 12 月 25 日	第 3 回上野地区まちづくり ビジョン策定委員会	(1) 第 2 回ビジョン策定委員会の振り返りについて (2) まちづくり部会における検討状況について (3) 基盤整備部会における検討状況について (4) ビジョンの骨子イメージについて (5) 今後の検討の進め方について
令和元年 9 月 6 日	第 4 回上野地区まちづくり ビジョン策定委員会	(1) 第 3 回ビジョン策定委員会の振り返りについて (2) 上野「文化の杜」新構想との取り組み連携について (3) まちづくり部会における検討状況について (4) 上野地区まちづくりビジョン（たたき案）について (5) 今後の検討の進め方について
令和元年 12 月 4 日	第 5 回上野地区まちづくり ビジョン策定委員会	(1) 第 4 回ビジョン策定委員会の振り返りについて (2) 基盤整備部会における検討結果について (3) まちづくり部会における検討結果について (4) ビジョン（中間のまとめ）について (5) 今後の検討の進め方について
令和 2 年 1 月 27 日	第 6 回上野地区まちづくり ビジョン策定委員会	(1) 第 5 回ビジョン策定委員会の振り返りについて (2) 各所からの主な意見と対応について (3) ビジョン（最終案）について (4) 今後の上野地区まちづくり推進について

上野地区まちづくりビジョン策定委員会の構成

※国・東京都・鉄道事業者等の関係機関の氏名は省略

役職名	氏名(敬称略)	所属名
座長	岸井 隆幸	日本大学理工学部 特任教授
副座長	高見 公雄	法政大学デザイン工学部 教授
委員	元倉 眞琴	東京藝術大学 名誉教授 (～平成 29 年 11 月)
	清水 泰博	東京藝術大学副学長・美術学部 教授 (平成 30 年 1 月～)
	加藤 孝明	東京大学生産技術研究所 教授、社会科学研究所 特任教授
	五十嵐 泰正	筑波大学大学院 准教授
	佐藤 一也	副都心上野まちづくり協議会 会長
	桜井 聖剛	御徒町駅広場周辺地区まちづくり協議会 会長
	梅澤 真光	御徒町駅東側区域まちづくり協議会 会長
	大橋 良	竹町地区町会連合会 会長 (～平成 30 年 2 月)
	麻生 勝重	竹町地区町会連合会 会長 (平成 30 年 4 月～)
	政木 喜三郎	東上野地区町会連合会 会長
	土肥 一夫	上野地区町会連合会 会長
	早津 司朗	上野商店街連合会 会長
	二木 忠男	上野観光連盟 会長
	—	東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部投資計画部担当部長
	—	東日本旅客鉄道株式会社 東京支社総務部企画部長
	—	東京地下鉄株式会社 鉄道本部鉄道統括部長
	—	京成電鉄株式会社 経営統括部長
	西野 仁	台東区 技監 (平成 30 年 4 月～)
	佐藤 徳久	台東区 企画財政部長 (～平成 31 年 3 月)
	田中 充	台東区 企画財政部長 (平成 31 年 4 月～)
伴 宣久	台東区 都市づくり部長	
高柳 正治	台東区 土木担当部長 (～平成 30 年 3 月)	
岡田 和平	台東区 土木担当部長 (平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)	
武田 光一	台東区 土木担当部長 (平成 31 年 4 月～)	

基盤整備部会の構成

役職名	氏名(敬称略)	所属名
部会長	高見 公雄	法政大学デザイン工学部 教授
部会員	清水 泰博	東京藝術大学副学長・美術学部 教授 (平成 30 年 1 月～)
	—	東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部投資計画部計画調整グループ課長
	—	東日本旅客鉄道株式会社 東京支社総務部企画室企画調整課長
	—	東京地下鉄株式会社 鉄道本部鉄道統括部開発連携・工事調整担当課長
	—	京成電鉄株式会社 経営統括部経営企画担当課長
	—	国土交通省 関東地方整備局東京国道事務所計画課長
	—	東京都 建設局道路管理部路政課長
	—	東京都 建設局公園緑地部計画課長
	—	東京都 建設局東部公園緑地事務所事業推進課長
	伴 宣久	台東区 都市づくり部長
	高柳 正治	台東区 土木担当部長 (～平成 30 年 3 月)
	岡田 和平	台東区 土木担当部長 (平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)
	武田 光一	台東区 土木担当部長 (平成 31 年 4 月～)

まちづくり部会の構成

役職名	氏名(敬称略)	所属名
部会長	加藤 孝明	東京大学生産技術研究所 教授、社会科学研究所 特任教授
部会員	五十嵐 泰正	筑波大学大学院 准教授
	佐藤 一也	副都心上野まちづくり協議会 会長
	梅澤 高興	御徒町駅広場周辺地区まちづくり協議会 副会長
	梅澤 真光	御徒町駅東側区域まちづくり協議会 会長
	三浦 利典	竹町地区町会連合会 会員
	政木 喜三郎	東上野地区町会連合会 会長
	野村 孝三郎	上野地区町会連合会 副会長
	早津 司朗	上野商店街連合会 会長
	星野 勲	上野商店街連合会 理事
	二木 忠男	上野観光連盟 会長
	伴 宣久	台東区 都市づくり部長
	岡田 和平	台東区 土木担当部長 (～平成 31 年 3 月)
	武田 光一	台東区 土木担当部長 (平成 31 年 4 月～)

【オブザーバー】

国土交通省都市局、東京国道事務所、東京都都市整備局都市基盤部、東京都建設局道路管理部、東京都建設局公園緑地部、東部公園緑地事務所、上野文化の杜新構想実行委員会、独立行政法人都市再生機構

1 上野地区まちづくりビジョンとは

2 上野の歴史と現状

3 上野の将来像

4 取組みの方向性

5 将来像の実現に向けて

巻末資料



上野地区まちづくりビジョン

令和2年3月発行
(平成31年度登録 第92号)

台東区都市づくり部 地域整備第一課

〒110-8615 東京都台東区東上野4丁目5番6号
電話 03(5246)1368 (直通)